



ふじさん

ギャラリー

富士宮市人穴にアトリエをもって、夜の富士山が好きになりました。月の夜空に黒く輝く”漆黒の富士山”を見ると、心が休まります。やさしく包んでくれる、やさしく見守ってくれる…私にとっての富士山は「やさしいもの」。絵を描き終えて、長泉町納米里の自宅に向かうときは♪月がとっても碧いから遠まわりして帰ろう♪の気分です。

聖夜▶



向井友子 TOMOKO MUKASA

ギャラリー大蔵にて

〒418- 静岡県富士宮市上条524-91
TEL.0544-58-9766

鳥農の富士(サントペテルブルグ美術アカデミー賞 受賞)

雪解け、芽吹き、そして農作業が始まる頃、残雪が頂に鳥がとまっているように見えることから、この時期の富士山を”鳥農の富士”と呼ぶのだそうです。その鳥農の富士が、きれいに水をひかれた田んぼにそのままの姿で映っていたのに感動し、絵筆をとりました。どこから見ても、誰が見ても、いつもそこにドーンと居てくれる富士山。『私も裏表のない、どこから見られてもありのままの自分でありたい』そんな思いを込めました。黄色は、菜の花やこぶし。今はきびしくても必ず花が咲くという明るい色のメッセージでもあります。

コラム

“大きく育ててね”じゃ育てない!

“苗木を植える”っていうのは聞こえがいいしスマートだからみんな参加するけど、森を育てるってそれで終わりじゃないんだ。

苗木を植えてもまわりの草の方が早く育つものだから、成長がじゃまされて苗木は弱ったり枯れたりしてしまう。

そういう下草を刈る作業、『下刈』のほうが本当は大切なんだ。確かに暑いし、重労働だからカッコ悪いかもしれないけど。

それに、植えた苗木ばかりじゃなくて、自生してくる色々な木も大切にして、種の多様性が豊かな森にしていかなければいけない。

だから“何年後かに見に来るから大きく育ててね”じゃ木は大きくならないんだ。

本気で富士山の森を育てるために活動したいんだったら“植えて終わり”じゃだめだよ。

編集

●「ふじさんネットワーク」情報部会

事務局：特定非営利活動法人 ふじ環境倶楽部
〒417-0815 静岡県富士市増川19-1(太田)
TEL.0545-38-0088 FAX.0545-39-0057
e-mail adism@ilac.ocn.ne.jp

発行

●「ふじさんネットワーク」事務局

静岡県環境森林部環境政策室 富士山浜名湖スタッフ
〒420-8601 静岡県静岡市 追手町9番6号
TEL.054-221-3776 FAX.054-221-3665
e-mail 3776@fujisan-net.gr.jp